

## 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

### 1 これまでの経過

- 令和2年4月16日 <緊急事態宣言が全国に拡大>  
緊急事態措置発表（外出自粛要請）（～5月6日）
- 4月21日 緊急事態措置改定（イベント自粛要請、施設使用制限等）  
（4月23日～5月6日）  
県新型コロナウイルス感染症対策推進体制拡充
- 5月5日 措置期間の延長（～5月31日）  
外出自粛要請、施設使用制限等の一部緩和（5月11日～）
- 5月14日 <緊急事態宣言解除（滋賀を含む39県）>  
外出自粛等の要請の継続、施設使用制限等の解除（5月15日～）  
「コロナとのつき合い方 滋賀プラン」
- 5月29日 外出自粛の要請解除（6月1日～）  
イベント（一定規模のイベントは除く）の開催自粛は継続  
概ね3週間ごとに本県の感染状況等について評価を行いながら段階的に緩和

### 2 「コロナとのつきあい方 滋賀プラン」について

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」における客観的指標により3段階にステージを分け、「社会経済活動の再開」「感染者が再度増えてきた際の対策強化」を判断することとし、それぞれのステージに応じて必要な対策を講じていく。

※別添参照

### 3 現在のステージについて

判断指標および参考指標から、現在「注意ステージ」と判断  
イベントについては、国の基本的対処方針の段階的緩和を踏まえ、概ね3週間ごとに本県の感染状況等について評価を行いながら段階的に緩和を行う。

※別添参照

### 4 新型コロナウイルス感染症禍における避難対策

※資料2-2参照

## ■「コロナとのつき合い方 滋賀プラン」概要

客観的指標により3段階のステージを設定

- 社会経済活動の再開
- 感染者が再度増えてきた際の対策強化

を判断するとともに、当面の対策を示す。

### 各ステージの説明

※「実効再生産数」とは、「1人の感染者が何人に感染させるかを示す値」を意味する。

<b>特別警戒 ステージ</b>	<p>医療崩壊・感染爆発のリスクが高く、市中感染も拡大傾向にあり、活動の大幅な制限が必要となるステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 生活する上で必要不可欠な業種や活動のみ実施を認め、その他については自粛を要請。</li> <li>✓ 実効再生産数を80%削減する行動変容(5分の1ルール)が必要。</li> </ul>
<b>警戒 ステージ</b>	<p>県内もしくは近隣府県で感染拡大のおそれがあり、状況が悪化すれば感染爆発や医療崩壊につながる可能性のあるステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ リスクの大きい場所や活動については制限を行い、リスクの小さい場所や活動については十分注意するか一部制限した上で実施。</li> <li>✓ 実効再生産数を50%削減する行動変容が必要。</li> </ul>
<b>注意 ステージ</b>	<p>県内外における感染が一定抑制され、収束しつつあることが明確であり、三つの密等に注意しながら活動を再開するステージ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 元通りの生活に戻るのではなく、三つの密の回避、人との間隔の確保、マスクの着用、手洗いの徹底などの対策を継続しながら活動を実施。</li> <li>✓ 実効再生産数を30%削減する行動変容が必要。</li> </ul>

以下の2点に特に注意が必要

- ①注意ステージは元通りの生活に戻るのではなく、感染拡大に注意しながら生活する
- ②今後少なくとも1年以上は、発生状況により**ステージが移り変わっていくこと**の認識を持つ

## 各ステージの判断指標

		特別警戒ステージ	警戒ステージ	注意ステージ	
		感染爆発・医療崩壊のリスクが高い →活動の大幅な制限	感染拡大のおそれがある →リスクに応じた対策を実施	感染が一定抑制されている →3密に注意して活動	
判断指標	大阪府および京都府の緊急事態宣言の状況	-	大阪府または京都府に発令	大阪府、京都府に発令されていない	
	県内状況	感染経路が不明な新規陽性者数	7日間に複数確認	7日間で1名まで	14日間連続ゼロ
		入院患者受入病床の稼働率	60%以上	30%以上	30%未満
		人工呼吸器等の稼働率	60%以上	30%以上	30%未満
参考指標	大阪府および京都府を除く緊急事態宣言の状況	近畿および近隣県のいずれかに発令		近畿および近隣県のいずれにも発令されていない	
	県内状況	県内の実効再生産数(21~14日前までの平均)	1.5以上	0.7以上	0.7未満
		濃厚接触者を除くPCR検査陽性率	7日間平均3%以上	7日間平均3%未満	14日間0%
		K値	0.5以上	0.05以上	0.05未満
		クラスターの発生(7日間)	認められる		認められない

### 感染経路が不明な新規陽性者数について

- 感染収束局面（ステージダウン）の場合
  - ① 「特別警戒ステージ」 → 「警戒ステージ」 7日間で1名までであることが必要
  - ② 「警戒ステージ」 → 「注意ステージ」 14日間連続で0名であることが必要
- 感染拡大局面（ステージアップ）の場合
  - ③ 「注意ステージ」 → 「警戒ステージ」 感染拡大のおそれがある感染状況下（実効再生産数=0.7以上またはK値=0.05以上等の参考指標も考慮）で、1名確認された時点で移行
  - ④ 「警戒ステージ」 → 「特別警戒ステージ」 感染爆発・医療崩壊のリスクが高い感染状況下（実効再生産数=1.5以上またはK値=0.5以上等の参考指標も考慮）で、7日間に複数確認された時点で移行

## 現在の状況

		注意ステージ	6月11日現在の状況	
		感染が一定抑制されている →3密に注意して活動		
判断指標	緊急事態宣言の状況	大阪府、京都府に発令されていない	発令されていない	
	県内状況	感染経路が不明な新規陽性者数	14日間連続ゼロ	18日間連続ゼロ
		入院患者受入病床の稼働率	30%未満	2.7%
		人工呼吸器等の稼働率	人工呼吸器の稼働率30%未満	2.0%
参考指標	緊急事態宣言の状況	近畿および近隣県のいずれにも発令されていない	発令されていない	
	県内状況	県内の実効再生産数*1（14日前）	0.7未満	0
		濃厚接触者を除くPCR検査陽性率*2	14日間0%	0%
		K値*3（7日間平均）	0.05未満	0
		クラスターの発生（7日間）	認められない	認められない

## 各ステージにおける感染拡大防止対策

各ステージにおける対策は、本県の感染状況、国の基本的対処方針等を踏まえ、柔軟に対応

ステージ	特別警戒ステージ	警戒ステージ	注意ステージ	
医療体制	病院が医療崩壊防止のためのBCP発動	病院が特別警戒ステージに備えた準備	病院が適切な感染防止対策	
企業への呼びかけ	在宅勤務を推奨	在宅勤務を推奨	在宅勤務を推奨	
	時差出勤を推奨	時差出勤を推奨	時差出勤を推奨	
外出	渡航	発生地域から（へ）の不要不急の渡航自粛を呼びかけ、渡航後14日間の外出自粛を求める		
	県をまたぐ移動	自粛要請（Stay Home）	自粛要請（Stay Home Town）	万全の対策を前提に制限なし
	個人の外出	「滋賀1/5ルール」の徹底 「滋賀らしい生活三方よし」の実践		
イベント	自粛要請	自粛要請（一定規模のイベントは除く）	万全の対策を前提に制限なし	万全の対策を前提に制限なし
施設の使用	使用制限要請	使用制限要請	万全の対策を前提に制限なし	万全の対策を前提に制限なし

## 現在の対策

対策の内容	6月1日以降
①外出自粛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出自粛の要請は行わない</li> <li>・以下について、県民に呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 5月25日に緊急事態宣言が解除された5都道県（北海道、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県）や、感染者が多数発生している地域への移動については、極力控える</li> <li>➢ クラスターが発生している施設等への外出については、極力控える</li> <li>➢ 「滋賀らしい生活三方よし」の実践</li> <li>➢ 観光は、まずは県内から</li> </ul> </li> <li>・6月19日以降は、以下について県民に呼びかけ <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「滋賀らしい生活三方よし」の実践</li> </ul> </li> </ul>
②イベントの開催自粛要請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント主催者に対し、開催自粛を要請 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 概ね3週間ごとに本県の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、段階的に緩和（詳細は別紙）</li> </ul> </li> </ul>
③施設の使用制限の要請等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用制限の要請を行わない</li> <li>・事業者に対し、入場制限等の実施も含め徹底した感染防止対策の実施を要請</li> </ul>
④県立施設等	
県立学校	感染症対策を徹底した上で、分散登校等を行い再開。8日以降は通常授業を実施。
県立施設	感染防止対策を講じた上で、原則、開館や利用を再開。なお、施設等で開催するイベントについては②のとおり。
公園	琵琶湖湖岸の駐車場の閉鎖等を順次解除。

## 【別紙】 イベントの開催自粛の段階的緩和の目安 (その1)

- 6月1日より、概ね3週間ごとに本県の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、段階的に緩和を行う。
- 感染状況等に変化がみられる場合は、目安の変更や必要な対策等を実施する。
- 8月1日以降については、国の方針に基づき改めて検討を行う。

### 【イベント開催に当たっての留意事項】

- 手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、基本的な感染防止策の徹底。
- イベント主催者や出演者に「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、LINE「新型コロナ対策パーソナルサポート」による感染拡大防止システムの活用、イベント前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけ。
- イベント主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意。

### ＜基本的な考え方＞（収容率と人数上限でどちらか小さい方を目安）

時期		収容率の目安	人数上限の目安
ステップ① (6/1~)	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	200人
ステップ② (6/19~)	屋内	50%以内	1000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	1000人
ステップ③ (7/10~7/31)	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	5000人

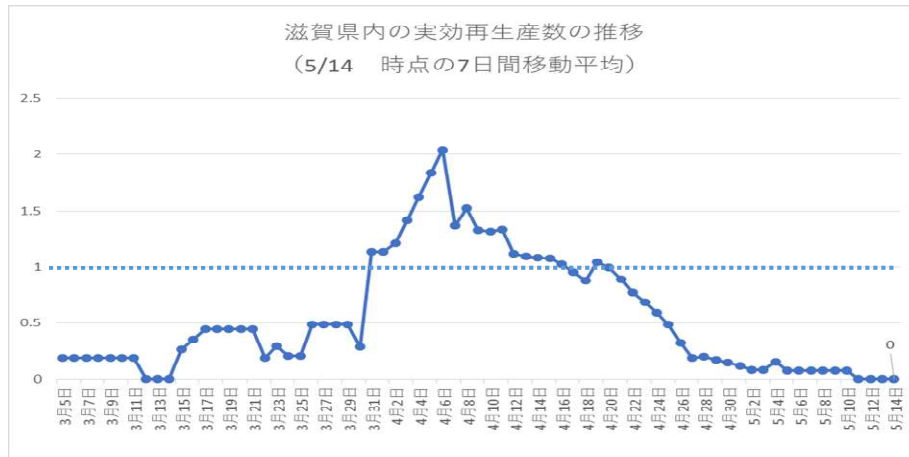
## 【別紙】 イベントの開催自粛の段階的緩和の目安 (その2)

- 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応。
- プロスポーツ等においては、無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理

### ＜具体的な当てはめ＞

時期	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等	お祭り・野外フェス等	
				全国的・広域的	地域の行事
ステップ① (6/1~)	○ 【100人または定員の50%のどちらか小さい方を目安（屋外200人以下）】	○ 【100人または定員の50%のどちらか小さい方を目安】	×	×	△ 【100人または定員の50%のどちらか小さい方を目安（屋外200人以下）】 ※特定地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
ステップ② (6/19~)	○ 【1000人または定員の50%のどちらか小さい方を目安】		○ 【無観客】		○ ※特定地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
ステップ③ (7/10~7/31)		○ 【5000人または定員の50%のどちらか小さい方を目安】			

## 【参考】県内の実効再生産数（Rt）の 7日間移動平均（21～14日前までの平均）の推移



- 実効再生産数(Rt)とは、1人が何人に感染させるかを示す値。Rtが1より大きいと感染が拡大傾向にあり、1未満であると感染が縮小傾向にあることを示す値
- 世代時間（発症から発症までの時間）の分布\*1を用いて算出\*2

\*1 Nishiura H et al., 2020. Int J Infect Dis

\*2 Wallinga J and Teunis P. 2004. Am J Epidemiol.

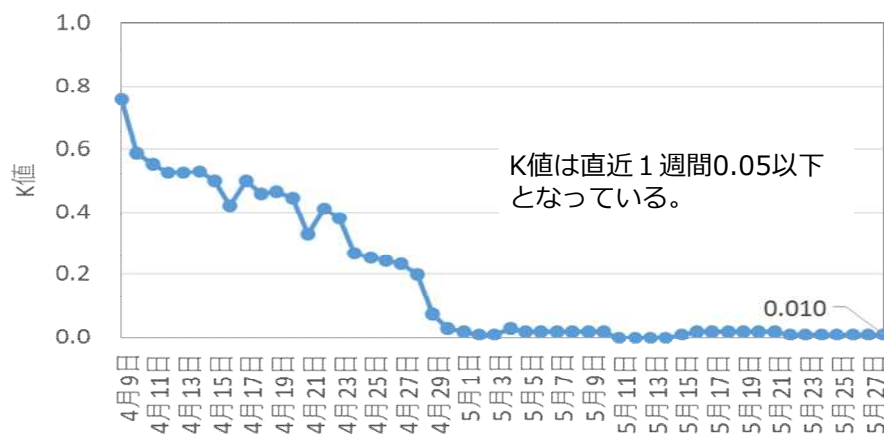
健康医療福祉部感染症対策班作成

## 【参考】 $K$ 値 = $1 - (\text{1週間前まで累積総陽性者数} / \text{当日までの累積陽性者数})$

※ 1 に近づくほど感染が拡大し、0 に近づくほど感染が収束していることを意味する。

### 滋賀県内のK値の変化

(5/28 17:00時点)



健康医療福祉部感染症対策班作成